

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	プラスチックシート成型品（食品用途）
CK - 01	English	Plastic thermoformed products for food

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

1	PCR 制定の 前提	製品	定義	食品の包装に使用される、主原料が PS,PP,PET,PLA 系樹脂のシート熱成型品。
2			範囲	<p>非発泡シート、発泡シートおよびその複層シートを用いた熱成型品を範疇とする。</p> <p>別紙1に示す各素材構成分類における全ての製品を評価対象とし、その代表値をラベル上で開示する。ただし、以下を考慮してよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ただし、素材構成分類の製品群全質量の1%に満たない素材はカットオフしてよい。 また、同素材構成分類内でさらに製品範囲を限定し、その代表値を全製品代表値と併記してよい。 <p>負荷の計上は製品 1kg あたりとする。</p>
3		ステージ	範囲	全てのライフサイクルステージ。但し、使用ステージは対象外とする。
4	製品デ ータシ ート (LCI入 力デー タ)	製造ステー ジ情報（製 品情報）	製品材料また は原料構成	<p>1) 部品等A（データ収集対象の工程）： 基材（シーティング～成型加工、フィルム加工、コンパウンド工程の負荷が製造ステージの収集対象） （別紙2参照）</p> <p>2) 製品データシートに記載する材料分類名 （主原料）ポリスチレン、ポリプロピレン、PET、PLA （発泡剤）炭化水素、分解型発泡剤 * 発泡剤の組成と分解型発泡剤の分解生成物をラベルの欄外に明記する。 （補助投入物）TALC、SBR、その他添加物 以上の他は使用した原単位名を記載する。</p> <p>3) リサイクルの取扱い 別紙2に従うこと。</p>
5		製造ステー ジ情報（製 造サイト情 報）	投入・消費・ 排出される物 質とエネルギー	<p>1) 投入・消費される物質及びエネルギー 原材料、電力、燃料、水</p> <p>2) 排出される物質及びエネルギー 陸 圏：廃棄、焼却プロセスでの手段、および製品生産量の「0.1%以上」の廃棄物。廃棄方法は申請各社が申請時点で実施している代表的廃棄方法に基づき設定する。 水圏：下水道への放出量（冷却水の排水は除外）</p> <p>3) 輸送負荷 サイト間輸送（自社・他社間含む）は申請各社がモデル設定する。</p> <p>4) 副産物・副資材 副産物：打抜きロス、スリットロスはオープンリサイクル材として計上 副資材：製造サイトで投入され、また廃棄またはリサイクルされるが製品と共に出荷されない資材はカットオフルールに従う。</p> <p>5) 歩留まり 素材、およびサイト負荷を計上する際に材料投入量は打ち抜きくずに回る</p>

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	プラスチックシート成型品（食品用途）
CK - 01	English	Plastic thermoformed products for food

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

				分も含めて計上し、ユニットプロセス毎に各社実績の平均値を採用する。
6		物流ステージ情報	製品の輸送条件	<p>1) 利用事業者までの輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準手段は4tトラック輸送とする。 輸送距離はモデル設定する:製品輸送 150km 積載率の算出方法 <ol style="list-style-type: none"> 各社素材別に 1才あたりのトレイ重量の平均値を算出 各社生産高割合を重量ベースで算出 上記①を使って②から生産高割合の才単位を算出。 全移動台数を③で配分 上記を使い、②/④で積載率(重量ベース)を算出。
7		使用ステージ情報	製品の使用条件	対象外とする。
8		廃棄・リサイクルステージ情報	製品の廃棄・リサイクル条件	<p>1) 別紙2のリサイクルシナリオを使用</p> <p>2) 別紙2において、市町村回収の焼却/ストーカ炉発電は 23.6km、埋立は 33km とし、また容リ回収の材料リサイクルは 108.6km、コークス炉投入は 423.6km の輸送負荷を計上する。輸送手段は 4t トラックとする。</p> <p>3) 上記 1)、2)に当てはまらない場合には自社でリサイクルシナリオを設定する。設定の根拠は検証の対象となる。</p> <p>「プラスチック廃棄物の処理・処分に関する LCA 調査研究報告書」(2001) プラスチック処理促進協会</p>
9	製品環境情報データシート (PEIDS)	インベントリ分析	LCI 計算式	オープンリサイクル/リユースを含む場合は間接影響と直接影響に分離して計算し、このうち間接影響分を「リサイクル効果」として表現する。PEIDS では間接影響の合計を「リサイクル効果」欄に記載する。
10		インパクト評価	カテゴリ追加	追加なし。オゾン層破壊、富栄養化は含まない。
11		データ加工	アロケーション	統一せず、各社で決定する。
12	内訳データシート (製品データシート関連)	データ収集	収集範囲	<p>1) 場所 フィルム製造、シート製造(フィルム付きシート含む)、容器製造のそれぞれについて、生産量の60%以上を司る代表工場データ、もしくは同条件を満たす複数サイトデータの加重平均を収集する。</p> <p>2) 期間 ・年平均を基準採用する。 ・基準以外の場合は条件を明示し、基準のデータが揃った段階で修正する。</p> <p>3) 新製品、新規設備導入など、代表値設定が出来ない場合はプロセスの設置値、計画数値に基づくデータを「仮の代表値」とした取り扱いを認めるが、その旨の条件を明示すると共に、平常時の実績データが揃い次第修正する。</p> <p>4) トリミングロス率については全対象製品のデータからの加重平均を算出する。</p>
13			カットオフルール	<ul style="list-style-type: none"> 製品質量に対して1%未満の原材料、補助投入物質および製品組成物質についてはカットオフしてよい。 製造ステージから排出される、製品生産量の 0.1%未満の廃棄物については

エコリーフ環境ラベル 製品分類別基準（PCR）

PCR No.	日本語名	プラスチックシート成型品（食品用途）
CK - 01	English	Plastic thermoformed products for food

注) この基準は、エコリーフプログラム実施用に作成されたものです。無断で、一部又は全部を、他の目的で使用することを禁止致します。

				<p>カットオフしてよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カットオフの合計は5%未満とすること。 ・その他カットオフを適用する際は、その内容と根拠を明示する。
14	内訳データシート（PEIDS 関連）	データベース	原単位データベースの選定	<p>共通原単位を採用する。</p> <p>タルク ⇒ 重質炭酸カルシウム</p> <p>容リ回収(材料リサイクル以外)⇒ 同重量の石炭(コークス炉投入を想定)</p> <p>市町村回収(埋立・焼却以外)⇒ ストーカ炉発電原料(得られる電力はエコリーフ原単位で控除)</p>
15			原単位データベースの追加	<p>以下の PCR 原単位を別紙3に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストーカ炉発電 ・ 重質炭酸カルシウム
16			特性化係数の追加	なし
17	製品環境情報		製品仕様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 素材構成分類(別紙1)の名称 ・ 形状(複数可) ・ サイズの範囲 ・ 容器1枚あたりの重量の範囲
18			データ公開内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「エコリーフ環境ラベル実施ガイドライン」に記載の必須項目を公開する。 ・ 選択した素材構成分類の中で範囲を限定した製品群の代表データを付記する場合は、様式1を二頁以内とし、読み手に分かりやすい表記とすること。 ・ オープンリサイクル/リユースを含む場合、「リサイクル効果」は実際に発生した負荷とは統合せずに、独立してステージ毎に点線で表示する。
19	その他環境関連情報		選択記載項目	<p>食品衛生法、PETトレイ協議会、ポリオレフィン等衛生協議会自主基準へ対応した内容があればこれを記載する。</p> <p>当該製品に関係する下記のものを記載することができる。</p> <p>1)タイプ I</p> <p>2)ISO14001認証の取得</p> <p>3)国または工業会等の認証・認定・表彰</p> <p>その他については申請企業ごとの対応とする。</p>

本 PCR の制定・承認情報

審議委員会	代表者氏名： 内山 洋司 所属： 筑波大学		
PCR 制定・改訂日	2008/08/29	有効期間	2011/08/29 ~ 2014/08/28

※現行のPCRを対象に、有効期間は、制定・更新または継続を目的とした改訂から丸3年とする。

本PCRの改訂等履歴

実施日	訂番等	実施内容
2008/08/29	01	制定
2008/11/18	-	軽微な修正を実施。
2011/08/29	-	更新

別紙1 素材構成分類 (全17分類)

主原料	シート種別	素材構成
PP	ソリッド	単体
		積層・複合
	発泡	単体
		積層・複合
PS	OPS	単体
	ソリッド	単体
		積層・複合
	発泡	単体
		積層・複合
	PET	ソリッド
積層・複合		
発泡		単体
		積層・複合
PLA	ソリッド	単体
		積層・複合
	発泡	単体
		積層・複合

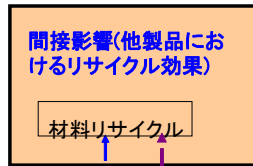
別紙2

エコリーフレベルの評価範囲について

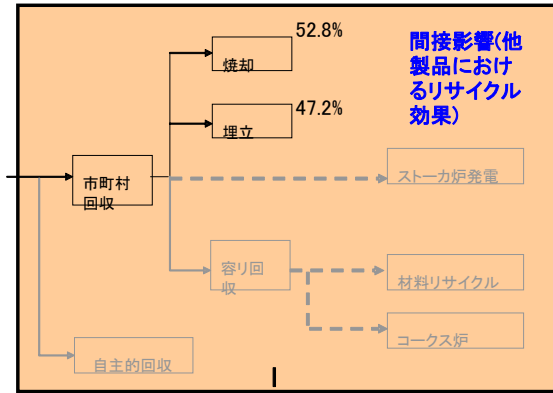
- 凡例
- > オープンリサイクル(製品製造)
 - > オープンリサイクル(素材製造)
 - > オープンリサイクル(廃棄・リサイクル)
 - > オープン・クロストリサイクル(シートその他成型品・当該成型品の比率でオープン・クロストを配分)
 - > オープン・クロストリサイクル(回収材の当該製品システム・他製品システムの比率で配分)、回収物流負荷も計上

- バーズン: 資源採掘から造粒までの物流負荷は原単位にて計上
- FGD 領域
- 間接影響の範囲

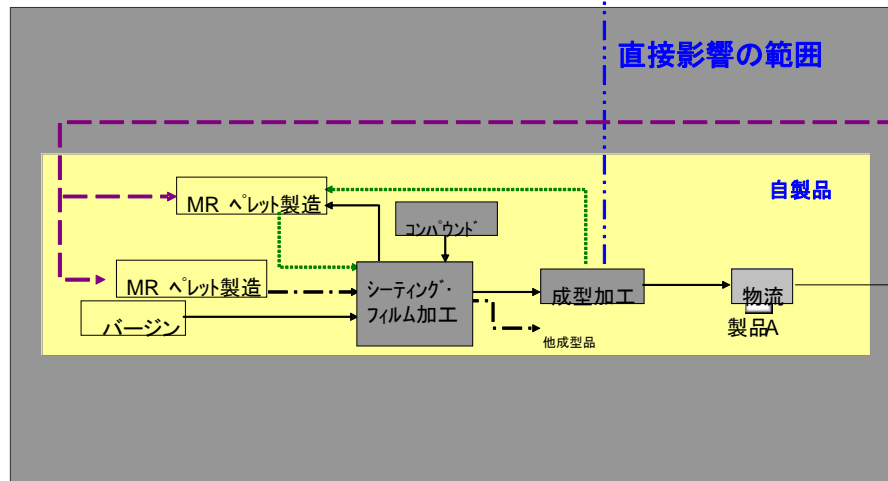
MR: マテリアルリサイクル



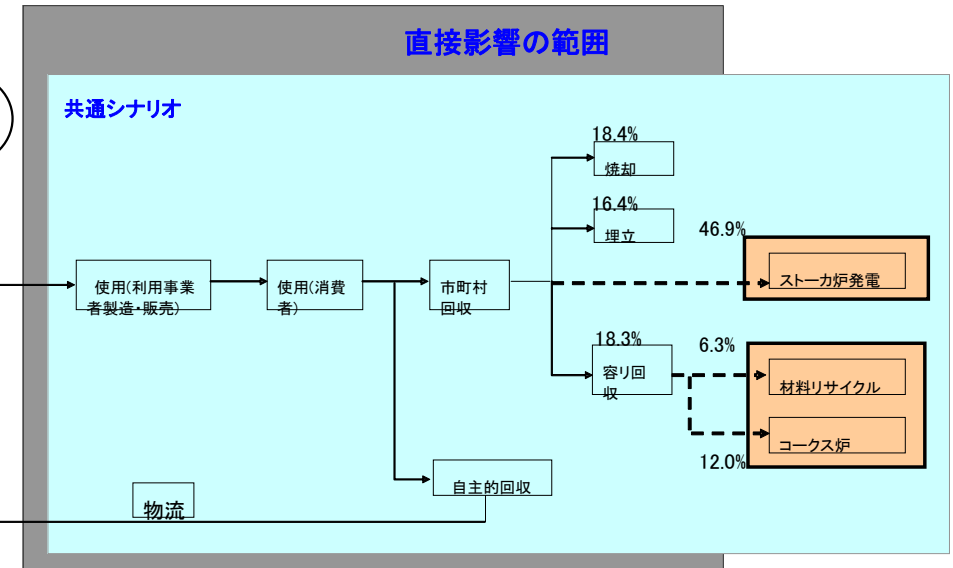
割合については各社設定



焼却(52.8%)・埋立(47.2%)として控除の対象とする。



廃棄リサイクル共通シナリオの出典
 容器包装リサイクル協会(2006年度プラスチック製容器包装再商品化データ)
 プラスチック処理促進協会(2006年フロー図)



自主的回収を行っている素材構成分類の場合は自主的回収の割合を定めて、合計が100%になるように比率を規格化する。PSPトレイの場合には自主的回収を1.9%とする。

別紙2（その2）

負荷・控除の計上について

項目	割合(別紙2、自主回収無しの場合) %	処理の負荷計上*	廃棄リサイクルステージにおけるリサイクル控除（間接影響）
焼却	18.4	共通原単位 133 「一廃焼却・灰埋立」 / 直接影響	なし
埋立	16.4	共通原単位 136 「一廃埋立」 / 直接影響	なし
その他（ストーカ炉発電）	46.9	PCR 原単位 ストーカ炉発電 / 直接影響	共通原単位 99 「電力」
容器リ回収（材料リサイクル）	6.3	共通原単位 141 「熱可塑プラ再生」 / 間接影響	共通原単位 該当樹脂
容器リ回収（コークス炉）	12.0	—	なし
合計	100.0		

*輸送負荷の計上は第8項に従うこと。